

選挙を知ろう

選挙権年齢が満18歳以上に引き下げられました。

あなたの一票が未来をつくる。



今年の参議院議員選挙から、高校生を含む満18歳、満19歳の皆さんが新たに有権者となる予定です。

有権者となる人の中には、漠然と不安を感じている人がいるかもしれません。

そこで、今回は、選挙制度や選挙運動、投票という選挙の基本的な仕組みを紹介します。

なお、分かりやすく選挙を説明するため、法律上の表現・用語を言い換えている箇所があります。

選挙権年齢を引き下げる目的

我が国では、少子高齢化が進み、人口が減少しています。この環境の中で、未来を担う若者に政治に関わってもらい、その声を社会や暮らしに反映したいという思いから選挙権年齢が引き下げられました。

世界では、約92%の国で18歳以上に選挙権が与えられています。今回の引き下げは世界の流れに沿ったものともいえます。

この機会に、選挙について学ぼう。



選挙のめいすいくん

なぜ選挙をするのでしょうか

私たちの代表を選ぶ

私たちの社会や暮らしをどのようにして向上させていくのかを決めるのが政治です。

我が国では、政治は私たちの代表者が担うことになっており、その代表者を決めるのが選挙です。

私たちは、選挙によって社会や暮らしづくりに参加しているのです。

つまり、有権者になるということは、選挙を通じて間接的に政治に参加する権利を持つことといえます。

自分の意志で選挙に参加する

私たちは、選挙で選ばれた代表者（首長、議員）が話し合ってお出した結論を尊重し、それに従う必要があります。

自分の意見が通らないといって政治に関心をなくし、選挙に参加しなくなると、一部の人の考えで政治が行われることになりかねません。

政治にさまざまな意見を反映するためには、一人一人が普段から身の回りの課題を調べ、自分なりに考え、自分の意志で政治に参加していくことが重要です。